

# 第9回 富山県 地域年金事業運営調整会議(資料)



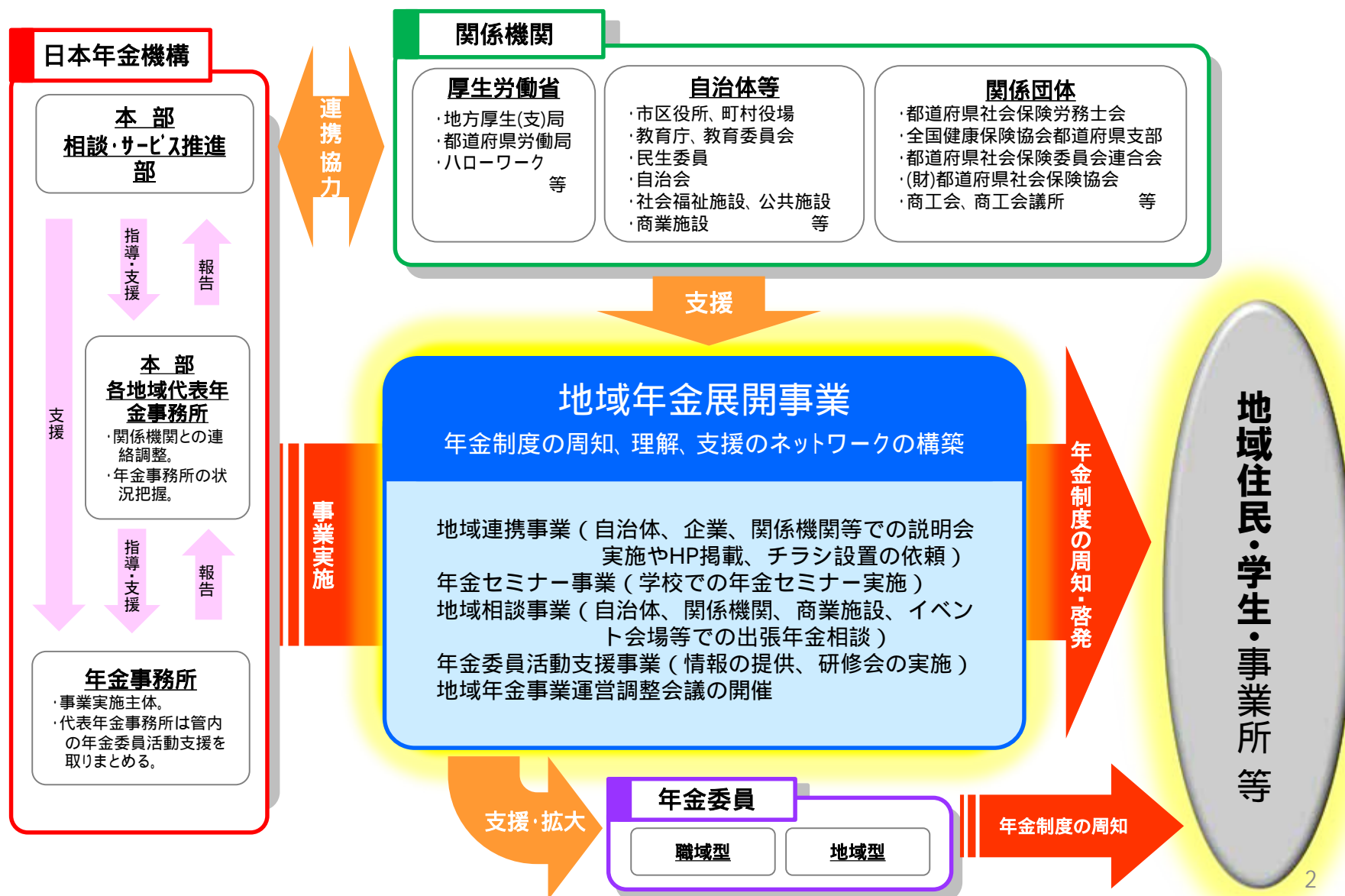
令和3年2月

富山年金事務所

# 目 次

1 . 地域年金展開事業の概要	2 P
2 . 令和 2 年度事業計画	4 P
3 . 令和 2 年度事業実施結果（令和 2 年4月～令和 3 年 1 月）	5 P
4 . これまでの会議で出た意見及び課題への対応	2 2 P
5 . 令和 3 年度事業方針	2 4 P

## 1. 地域年金展開事業の概要(1/2)



## 1. 地域年金展開事業の概要(2/2)

### 地域年金展開事業の主な取組

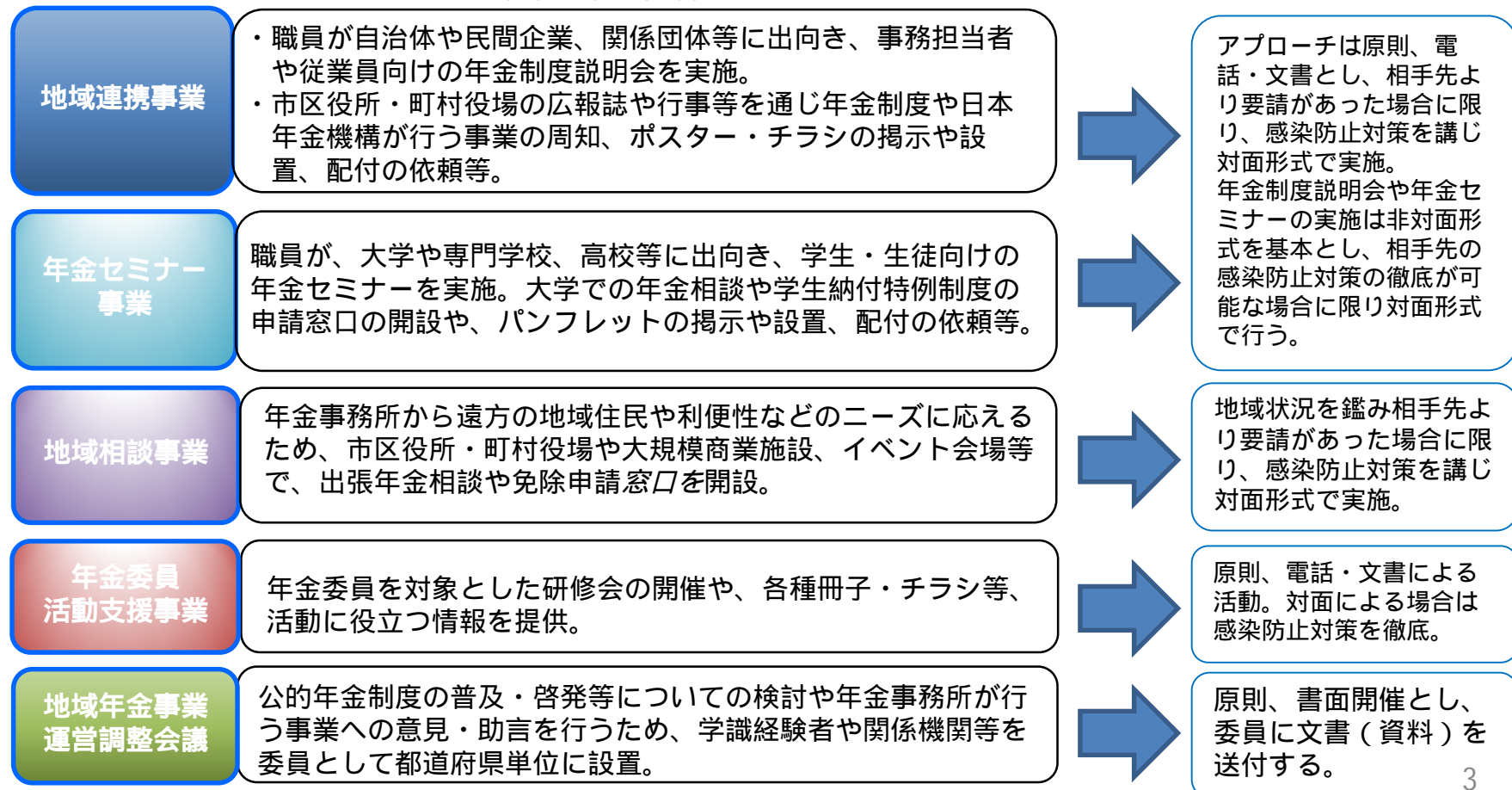
公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。

また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染防止に配慮した取組を実施しています。

#### 《本来の取組内容》

#### 《コロナ禍での取組内容》



## 2. 令和2年度の事業計画

### 【各事業への取組内容と具体的な活動】

事業名	取組み内容	具体的な活動
地域連携事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村、自治会、事業所、関係機関、関係団体に年金制度に関するチラシ、リフレットの配布、掲示板へのポスターの掲示等を依頼する。</li> <li>・地域型、職域型それぞれの年金委員の協力を得て年金制度に関するチラシ、リフレットの配布、掲示板へのポスターの掲示等周知活動を行う。</li> <li>・自治会、事業所、ハローワーク等の関係機関、関係団体等と連携し、年金制度説明会の開催による周知活動を実施する。</li> </ul>	<p>市町村・ハローワーク・関係団体等との連携による周知・啓発 各市町村等へ協力を要請し、チラシ・ポスター等による周知、制度説明を実施する。</p> <p>年金委員を活用しての周知・啓発 地域型・職域型年金委員に協力を依頼し、自治会、町内会・事業所にてチラシ配付および説明周知を行う。</p> <p>市町村担当者向け情報紙「かけはし」を自治体等へ配布する。</p> <p>事業所に対する制度説明会の実施 職域型年金委員に、退職間近者および新入社員向け年金制度説明会開催の協力依頼を原則、電話・文書により行う。</p>
年金セミナー事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生・生徒等の若年層を対象とした年金セミナーの拡充を図る。</li> </ul>	<p>大学、短大、専門学校等における年金セミナーの実施および「わたしと年金」エッセイ募集に関する周知活動を実施する。</p> <p>&lt;アプローチ実施&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県教育委員会、県学校長会、高等学校長会に対する周知、協力要請</li> <li>・大学への周知、協力要請を行うとともに、大学HPに年金制度啓発資料の掲載をあわせて依頼する。</li> </ul>
地域相談事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携事業(年金制度説明会)と併せて、各所において市町村、自治会、大学、事業所、ハローワーク、ジョブカフェ、商業施設等において出張年金相談を実施する。</li> </ul>	<p>市町村等における出張年金相談 管内各市町村や商業施設に出張年金相談開催への協力を依頼し、相談会を実施する。</p> <p>大学等構内における出張年金相談 大学等を対象とし、学特申請に関する出張年金相談の開催への協力を依頼し、相談会を実施する。</p>
年金委員活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金委員の活動に必要な情報提供を十分に行うとともに、関係団体への働きかけを強化し、その委嘱拡大に努める。</li> </ul>	<p>年金委員研修の実施 委員からの参加希望があった場合に限り実施する。</p> <p>電話・文書に勧奨を主体とした委嘱拡大 職域型にあっては、事業所が他業務で来所する機会も捉えた勧奨・案内を実施する。</p>

依頼は、原則電話・文書により行う。

事業は非対面形式を基本とし、対面で行う場合は感染症感染予防対策を徹底する。

事業名	実施した事項					実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点	
地域連携事業	市町村・ハローワーク・関係団体等との連携による周知・啓発 市町村職員担当者向け研修他連携事業 (前年度: 4回 31名)					コロナ禍にあった中、市町村との連携は例年どおり継続させることができたが、事業所およびハローワークにおける年金制度説明会は、感染症拡大防止の観点より実施できなかった。  退職間近者を対象とした年金シニアライフセミナーを感染症感染予防対策のため参加人数を抑えたうえで例年どおり実施した。 年金制度説明と「生きがいとライフプラン」につての二部構成で実施し、アンケート結果では、老後をいかに楽しくするかを考える良い機会になり参考になったと回答もいただき、非常に好評であった。 次年度以降も、継続して取り組んでいく。	
	事務所	企業・団体等	内容		実施回数		参加人数
	富山	富山市役所	担当者への制度説明会		1回		6名
		富山市役所本所および全地区センター	成人式でのねんきんネットチラシ配布および地区センターでの予約相談ポスター・チラシ設置		53か所		
	高岡	管内市町村役場	新任担当者への制度説明会		1回		5名
	魚津	管内市町村役場	新任担当者への制度説明会		1回		9名
	砺波	管内市町村役場	担当者への制度説明会		1回		11名
	その他関係団体等との連携 (前年度: 13回 818名)						
	事務所	企業・団体等	内容		実施回数		参加人数
	富山	全国社会保険委員会連合会	サンフォルテ	年金シニアライフセミナーにて年金制度説明および事業所での予約相談周知依頼	1回		21名
	高岡	全国社会保険委員会連合会	高岡商工会議所	年金シニアライフセミナーにて年金制度説明および事業所での予約相談周知依頼	1回		18名

事業名	実施した事項					実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
地域連携事業	年金委員を活用しての周知・啓発 (前年度: 44回 1,214名)					令和3年10月を目途にオンラインによる研修会実施に向け準備中である。
	事務所	企業・団体等	内容	実施回数	対象等人数	
	富山	職域型年金委員	各種事業にて制度周知依頼	2回	39名	
	砺波	職域型年金委員	各種事業にて制度周知依頼	2回	16名	
	市町村担当者向け情報紙「かけはし」を自治体等へ配布					
	各年金事務所より年金制度関連事務に関する情報誌「かけはし」を管内市町村へ送付することにより制度改正等の情報提供を行っています。					
機構本部各部から国民年金保険料や年金給付に関する手続きも含め、記載方法等も詳細に掲載されており、各地域で必要な内容を掲載するページもあり、市町村担当者にできるだけわかり易い内容となるよう工夫して情報発信に努めております。						
(5、7、9、11、1、3月隔月発行)						

事業名	実施した事項						実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
年金セミナー 事業	大学、短大、専門学校等における年金セミナーの実施および「わたしと年金」エッセイ募集に 関する周知活動 年金セミナー・エッセイアプローチ状況(1/3)						今年度は、感染症の影響により訪問によるアプローチができず、ほとんど文書によるアプローチのみとなり、結果として新規実施校の開拓を大きく進めることができなかったが、富山管内においては、中学校1校においてDVD視聴ではあるが新規で実施することができた。  来年度はこれまでにご意見をいただいている普通科高校への取組、各種支援学校やPTA活動の機会を捉えた保護者へのアプローチへの取組強化を図りたい。
	事務所	対象	対象数	取組内容	実施対象数	実施回数 (のべ)	
	富山	富山県教育委員会	1	電話・文書にて依頼	1	1回	
		富山市教育委員会	1	電話・文書にて依頼	1	1回	
		富山県高等学校校長会	1	電話・文書にて依頼	1	1回	
		富山県中学校校長会	1	電話・文書にて依頼	1	1回	
		大学・短大	3校	文書にて依頼	3校	3回	
				電話にて依頼	1校	2回	
		専門学校	16校	文書にて依頼	3校	3回	
				電話にて依頼	1校	2回	
		高等学校	21校	文書にて依頼	21校	21回	
		中学校	28校	文書にて依頼	28校	28回	
		外国人に対する日本語教育支援団体	2				



事業名	実施した事項						実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
年金セミナー 事業	年金セミナー・エッセイアプローチ状況(2/3)						【魚津】 専門学校:令和2年3月に1校閉校
	事務所	対象	対象数	取組内容	実施対象数	実施回数 (のべ)	
	高岡	大学・短大	3校	文書にて依頼	3校	3回	
		専門学校	4校	文書にて依頼	4校	4回	
				電話にて依頼	2校	2回	
		支援学校	2校				
		高等学校	15校	文書にて依頼	15校	15回	
				電話にて依頼	2校	2回	
		中学校	23校	文書にて依頼	23校	23回	
	魚津	管内市町村教育委員会	8	文書にて依頼	8	16回	
		管内図書館	9	文書にて依頼	9	9回	
		大学	1校	文書にて依頼	1校	2回	
		専門学校	2校	文書にて依頼	1校	2回	
		支援学校	1校				
		高等学校	10校	文書にて依頼	10校	20回	
		中学校	14校	文書にて依頼	14校	28回	

事業名	実施した事項						実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
年金セミナー事業	年金セミナー・エッセイアプローチ状況(3/3)						富山大学では、先生のご協力により、昨年に引き続き国際関係論の講義の一環として、年金セミナーを実施させていただいた。 事前に学生からの疑問点や自分なりの年金に対する印象等を提供していただき、それらに対する回答をできるだけ盛り込みながら、前半は講義を行い、後半は学生の年金に対する不安を払しょくできるようデータや資料を基に説明を行った。
	事務所	対象	対象数	取組内容	実施対象数	実施回数 (のべ)	
	砺波	支援学校	1校				
		高等学校	8校	文書にて依頼	6校	6回	
		中学校	16校				
		職域型年金委員設置事業所		口頭にて依頼	6事業所	6回	
	年金セミナー実施(1/2)						
	事務所	対象	学校数	実施方法	受講者数	予定等	
	富山	大学・短大	1校	対面	28名		
		専門学校				2月実施1校	
		高等学校	2校	対面	401名	2月実施3校	
		中学校	1校	DVD視聴	30名		
	高岡	専門学校	2校	DVD視聴	145名		
		高等学校	1校	DVD視聴	116名		

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
年金セミナー 事業	年金セミナー実施(2/2)	
	(前年度実績) 大学・短大 2校 2回 84名 専門学校 3校 4回 129名 支援学校	

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点																														
年金セミナー 事業	<p>「わたしと年金」エッセイ募集</p> <p>日本年金機構では、今年度も自身やご家族などの身近な方と、公的年金制度との関わりや考えなどをテーマに、「わたしと年金」エッセイの募集を令和2年6月1日～9月11日の間で行い、全国942件の応募の中から、受賞者が決定しました。</p> <p>【全国の応募状況】</p> <table><tr><th></th><th>一般</th><th>学生</th><th>計</th></tr><tr><td>平成29年度</td><td>91</td><td>803</td><td>894</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>119</td><td>1,035</td><td>1,154</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>104</td><td>1,186</td><td>1,290</td></tr><tr><td>2年度</td><td>134</td><td>808</td><td>942</td></tr></table> 		一般	学生	計	平成29年度	91	803	894	平成30年度	119	1,035	1,154	令和元年度	104	1,186	1,290	2年度	134	808	942	<p>富山県のエッセイ応募状況</p> <table><tr><th>年度</th><th>応募者数</th></tr><tr><td>29年度</td><td>2名(一般)</td></tr><tr><td>30年度</td><td>1名(一般)</td></tr><tr><td>元年度</td><td>0名</td></tr><tr><td>2年度</td><td>0名</td></tr></table> <p>応募数の多い県では、必須の宿題と している学校があるとのことであり、各 教育委員会と校長会に訪問にて、夏 休みの課題等にエッセイを入れてい ただくよう依頼し、各校には文書での 依頼は行ったが、結果として応募は無 かった。</p> <p>賞 厚生労働大臣賞、日本年金機構 理事長賞、優秀賞、入選 賞状の授与並びに記念品を贈呈します。</p>	年度	応募者数	29年度	2名(一般)	30年度	1名(一般)	元年度	0名	2年度	0名
		一般	学生	計																												
平成29年度	91	803	894																													
平成30年度	119	1,035	1,154																													
令和元年度	104	1,186	1,290																													
2年度	134	808	942																													
年度	応募者数																															
29年度	2名(一般)																															
30年度	1名(一般)																															
元年度	0名																															
2年度	0名																															

事業名	実施した事項
年金セミナー 事業	<div data-bbox="374 297 1773 1262"><h3 data-bbox="819 334 1286 382">「わたしと年金」エッセイ</h3><p data-bbox="1367 354 1692 382">(令和2年度 受賞作品紹介)</p><p data-bbox="691 465 1460 502">厚生労働大臣賞 北海道 吉田 勇太 様(30代 男性)</p><p data-bbox="405 554 1750 625">私は21歳のときから障害年金を受け取っている。大学で部活動中の事故による怪我が原因で右足を切断、障がい者となったためだ。</p><p data-bbox="405 631 1738 702">ただ、障害年金の請求手続は私が行ったわけではない。車いすでの生活に加え、リハビリや義足作成のため通院以外の外出は難しく、母が役所の年金担当に相談し、必要書類を揃え申請した。</p><p data-bbox="405 708 1750 893">実は21歳での障害年金の申請はハードルが高い。障害年金制度には、すべての国民が国民年金へ加入する20歳から傷病の初診日までの間に一定期間以上年金保険料を納付、免除もしくは学生の保険料猶予(学生納付特例)を受けていなければ障害年金がもらえない「納付要件」というルールがあるからだ。保険料を支払わず放置していると、怪我や病気によってどんなに重い障がいを負ったとしても、「もしもの時の生活保障」となる障害年金を受け取ることができない。</p><p data-bbox="405 899 1750 1008">事故当時21歳だった私は20歳の国民年金加入から約1年半と年金加入期間が短く、その半分以上の期間について保険料が納付、又は免除・猶予されていなければならなかった。このため、たった1か月の「未納期間」が、「納付要件」という条件クリアに大きな影響を与えてしまうのだ。</p><p data-bbox="405 1013 1750 1236">20歳当時学生だった私が「将来障がい者になり、障害年金を申請する立場に置かれる」ことまで考えているはずもなく、「20歳の国民年金の加入手続」も、「学生納付特例手続」も全て私の20歳到達とともに母が仕事の合間に役所で手続をしてくれていた。私は母に言われるがまま学生納付特例手続に必要な「学生証の写し」をコピーし、母のもとへ郵送しただけだ。母が私の学生納付特例手続を行っていないければ、私は障害年金を受け取ることができないどころか、手術費用や入院費用、その後の義足作成費用などの負担が重くのしかかっていただろう。</p></div>

事業名	実施した事項
年金セミナー事業	<p>事故後、障害年金の手続を役所で行った際、私の年金記録を確認した年金担当から母はこう言われたそうだ。「お母さん、息子さんの学生納付特例、ちゃんとしておいてよかったですね」と。母はいつも「当然のことをしたまでだ」とは言うが、母もまさか自分の息子が障がい者になるとは夢にも思っていなかっただろうし、きちんと私の年金の手続をしてくれていたからこそ、私の今の人生があることを考えると、感謝してもしきれない。</p> <p>そんな私はどのような巡りあわせか、現在市役所で年金担当として働いている。日々年金手続の受付業務の中で、当然「学生納付特例手続」を受付するのだが、学生本人や母親などの現役世代の方は「年金と言えば高齢者がもらう老齢年金」という認識が強い。「学生納付特例なんてする意味があるの?」、「保険料なんて支払う意味なんてあるの?」、「少子高齢化で私たちが高齢者になったら年金はもらえないんでしょ?」といった質問を数多く受ける。そんなときは現役世代が支払う保険料と高齢者の方が受け取る年金の関係など「公的年金制度の仕組み」の説明や、自分自身の経験などを踏まえながら「障害年金や遺族年金など、納付や免除をすることであなた自身に起こるかもしれない、転ばぬ先の杖となるような年金があるんですよ」というお話をさせていただき、納得していただいた上で、保険料の納付や免除・猶予手続を進めていただいている。</p> <p>一方で、日々の業務の中で窓口対応をしていると、初診時に年金に加入していない、保険料の納付が少ないことで納付要件を満たすことができないなどの理由により、残念ながら障害年金の受給に結び付かなかった方と接することもある。「早く教えてくれれば私だって加入や納付・免除手続をしたのに...」、「市役所の年金担当から案内されたことが無い...」、「障害者手帳があるのに年金担当から教えてもらえなかった...」といったご指摘を受けることも多い。「年金は申請主義」と言えばそれまでなのだが、本来受け取ることができたかもしれない年金が受け取れない状況が生まれないよう、「案内を行う側」である私がもっと「公的年金制度」について情報をお客様へ伝えていかなければならないと日々痛感している。</p>

事業名	実施した事項
年金セミナー事業	<div data-bbox="388 311 1783 708"><p>年金業務に携わる者としていつも心がけていることがある。年金の手続・相談に来られた方で、杖をついていたり、障害者手帳や療育手帳を持っていたり、「うつ」などの精神障害を患われて退職した方などには「障害年金をご存知ですか？」という質問を意識的に行うことだ。その方の傷病や障がいがいすぐに年金申請に結び付かなかったとしても、「障害年金の制度自体を知らなかった」、「私の病気で障害年金を申請できると思わなかった」といった言葉をいただくことが多い。</p><p>市役所の年金担当職員として、老後の年金だけでなく、予期せぬ事故後の生活を助ける障害年金や、大切な人を失われた遺族の生活を保障する遺族年金など、公的年金制度の大切さについて、少しでも多くの人に伝えていくことが事故後の生活を公的年金制度に助けられた私の大切な使命であると思っている。</p></div> <div data-bbox="537 729 1696 882"><p>入賞作品は、日本年金機構ホームページでもご覧いただけます。</p><div data-bbox="848 801 1309 855"><a href="#">わたしと年金エッセイ審査結果</a> <a href="#">検索</a></div></div> <div data-bbox="724 882 1468 1303"></div>



事業名	実施した事項					実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
地域相談事業	<p>市町村等における出張年金相談 市町村連携による相談会(1/2) 遠方で年金事務所等へお越しいただくことが困難なお客様のために、社会保険労務士会の協力を得ながら県内各所で出張年金相談を開催しています。</p>					<p>昨年同期144回1,110名、今年109回817名と、感染症の影響もあり相談者数は減っている状況にあるが、未だ年金事務所から遠方の多数の方からの相談があることから、継続した開催は必要。</p> <p>一方、感染症の感染拡大を契機に従来の対面型のみのビジネスモデルから非対面型のオンラインビジネスモデルの実現が求められおり、現在検討を大きく進めてきているところである。</p>
	事務所	開催地	開催場所	実施回数	参加人数	
	富山	富山市	大沢野行政サービスセンター	8回	64名	
			大山地域市民センター	3回	8名	
			八尾健康福祉総合センター	8回	73名	
			婦中行政サービスセンター	8回	65名	
	高岡	氷見市	氷見市役所	8回	74名	
			氷見商工会議所	8回	63名	
		射水市	射水市役所	7回	25名	
	魚津	朝日町	朝日町役場	7回	56名	
		入善町	入善町役場	7回	74名	
		上市町	働く婦人の家	7回	64名	
		立山町	立山町民会館	7回	62名	
		滑川市	滑川市役所	7回	39名	



事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点																	
地域相談事業	市町村連携による相談会(2/2)																		
	<table><tr><th>事務所</th><th>開催地</th><th>開催場所</th><th>実施回数</th><th>参加人数</th></tr><tr><td rowspan="3">砺波</td><td>小矢部市</td><td>小矢部市役所</td><td>8回</td><td>26名</td></tr><tr><td rowspan="2">南砺市</td><td>城端行政センター</td><td>8回</td><td>45名</td></tr><tr><td>福光行政センター</td><td>8回</td><td>79名</td></tr></table>	事務所	開催地	開催場所	実施回数	参加人数	砺波	小矢部市	小矢部市役所	8回	26名	南砺市	城端行政センター	8回	45名	福光行政センター	8回	79名	
	事務所	開催地	開催場所	実施回数	参加人数														
	砺波	小矢部市	小矢部市役所	8回	26名														
		南砺市	城端行政センター	8回	45名														
			福光行政センター	8回	79名														
	年金事務所における国民年金保険料納付相談会																		
	<table><tr><th>事務所</th><th>開催日</th><th>実施回数</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>魚津</td><td>令和2年11月30日</td><td>1回</td><td>8名</td></tr></table>	事務所	開催日	実施回数	参加人数	魚津	令和2年11月30日	1回	8名										
	事務所	開催日	実施回数	参加人数															
	魚津	令和2年11月30日	1回	8名															
大学等構内における出張年金相談																			
大学構内にて、学生のパンフレット配布と学生向け相談コーナー(学生納付特例申請書の受付窓口)を開設しました。																			
(前年度: 2校 9名)																			
<table><tr><th>事務所</th><th>開催日</th><th>開催場所</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>高岡</td><td>令和2年11月13日</td><td>富山県立大学</td><td>8名</td></tr></table>	事務所	開催日	開催場所	参加人数	高岡	令和2年11月13日	富山県立大学	8名											
事務所	開催日	開催場所	参加人数																
高岡	令和2年11月13日	富山県立大学	8名																
		一昨年度において、取組強化の意見があったが、感染症の影響もあり拡大には至っていない。構内での相談窓口設置については、大学構内の掲示板への掲示により周知いただいているが、参加人数の増加を図れていない状況であり、引き続き事前周知方法についてHPへの掲載等アプローチの方法について、学校への協力依頼等調整が必要。																	
		大学構内での出張相談の実施に向けた各大学への協力依頼とともに、学生納付特例事務法人の申請をいただいている各大学への学生納付特例申請の代行事務の更なる協力依頼と未申請の大学等への学生納付特例事務法人の申請依頼を実施する必要がある。																	

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点															
年金委員活動 支援事業	<p><b>全国年金委員研修会の開催</b></p> <p>これまでは全国から職域型年金委員および地域型年金委員の方々に各都道府県1名から2名程度お集まりいただき、東京会場において開催しておりましたが、今年度は、感染症の影響により、各年金事務所において感染症対策を講じたうえで、テレビ会議システムを活用したりリモート形式で行いました。これにより、参加人数を例年より増やすことができました。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年金制度改正等に関する説明（年金局より）</li><li>・ねんきんネットの概要（日本年金機構より）</li><li>・電子申請利用促進（日本年金機構より）</li><li>・国民年金にかかる制度周知（日本年金機構より）</li></ul> <table><tr><th>事務所</th><th>地域型年金委員 参加人数</th><th>職域型年金委員 参加人数</th></tr><tr><td>富山年金事務所</td><td>1名</td><td>3名</td></tr><tr><td>高岡年金事務所</td><td>2名</td><td>1名</td></tr><tr><td>魚津年金事務所</td><td>4名</td><td>0名</td></tr><tr><td>砺波年金事務所</td><td>0名</td><td>3名</td></tr></table>	事務所	地域型年金委員 参加人数	職域型年金委員 参加人数	富山年金事務所	1名	3名	高岡年金事務所	2名	1名	魚津年金事務所	4名	0名	砺波年金事務所	0名	3名	
事務所	地域型年金委員 参加人数	職域型年金委員 参加人数															
富山年金事務所	1名	3名															
高岡年金事務所	2名	1名															
魚津年金事務所	4名	0名															
砺波年金事務所	0名	3名															

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点													
年金委員活動 支援事業	情報誌「年金委員だより」等の送付 富山年金事務所より、県内全地域型年金委員あてに「年金委員だより」を6月・8月・11月・2月に送付しています。	市町村担当者向け情報誌「かけはし」の中から抜粋した地域型年金委員向け情報誌を作成、年金委員だよりと同時に送付し、情報提供の機会を増やしている。													
	<table><tr><th>事務所</th><th>送付日</th><th>掲載記事</th></tr><tr><td rowspan="3">富山</td><td>令和2年6月1日</td><td>・年金額改定について ・国民年金保険料について ・国民年金第3号被保険者の国内居住要件について ・出張相談所開設案内</td></tr><tr><td>令和2年8月14日</td><td>・国民年金保険料の免除制度について ・「わたしと年金」エッセイ募集 ・ねんきんネットについて</td></tr><tr><td>令和2年11月6日</td><td>・ねんきん月間について ・ねんきんネットについて ・社会保険(国民年金保険料)控除証明書の発行について ・よくある相談事例(年金給付編) ・出張相談所開設案内</td></tr><tr><td>本部</td><td>令和2年11月13日</td><td>・「知っておきたい年金の話」の動画について ・日本年金機構のホームページリニューアルについて 等 最新情報</td></tr></table>		事務所	送付日	掲載記事	富山	令和2年6月1日	・年金額改定について ・国民年金保険料について ・国民年金第3号被保険者の国内居住要件について ・出張相談所開設案内	令和2年8月14日	・国民年金保険料の免除制度について ・「わたしと年金」エッセイ募集 ・ねんきんネットについて	令和2年11月6日	・ねんきん月間について ・ねんきんネットについて ・社会保険(国民年金保険料)控除証明書の発行について ・よくある相談事例(年金給付編) ・出張相談所開設案内	本部	令和2年11月13日	・「知っておきたい年金の話」の動画について ・日本年金機構のホームページリニューアルについて 等 最新情報
	事務所		送付日	掲載記事											
	富山		令和2年6月1日	・年金額改定について ・国民年金保険料について ・国民年金第3号被保険者の国内居住要件について ・出張相談所開設案内											
			令和2年8月14日	・国民年金保険料の免除制度について ・「わたしと年金」エッセイ募集 ・ねんきんネットについて											
			令和2年11月6日	・ねんきん月間について ・ねんきんネットについて ・社会保険(国民年金保険料)控除証明書の発行について ・よくある相談事例(年金給付編) ・出張相談所開設案内											
本部	令和2年11月13日	・「知っておきたい年金の話」の動画について ・日本年金機構のホームページリニューアルについて 等 最新情報													
(2月送付)															
<table><tr><th>事務所</th><th>送付日</th><th>掲載記事</th></tr><tr><td>富山</td><td>令和2年2月9日</td><td>・令和2年分公的年金等の源泉徴収票の送付について ・ねんきんネットについて ・「わたしと年金」エッセイ審査結果 ・予約相談について</td></tr></table>	事務所	送付日	掲載記事	富山	令和2年2月9日	・令和2年分公的年金等の源泉徴収票の送付について ・ねんきんネットについて ・「わたしと年金」エッセイ審査結果 ・予約相談について									
事務所	送付日	掲載記事													
富山	令和2年2月9日	・令和2年分公的年金等の源泉徴収票の送付について ・ねんきんネットについて ・「わたしと年金」エッセイ審査結果 ・予約相談について													

事業名	実施した事項				実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
年金委員活動 支援事業	<b>職域型年金委員への情報提供</b>				<p>今年度は感染症の影響により、研修会を実施することができなかった。 現在、令和3年10月を目途にオンラインによる研修会実施に向け準備中である。</p> <p><b>富山・魚津・砺波年金事務所において令和3年2月にも再度参考図書の送付を行う予定です。</b></p>
	<b>事務所</b>	<b>内容等</b>	<b>回数</b>	<b>人数 (のべ)</b>	
	富山	ねんきんネット利用促進の案内	5回	2,117名	
		「ねんきん月間」「年金の日」のポスターおよびパンフレットの送付	1回	713名	
		社会保険事務参考図書の送付	1回	692名	
	高岡	ねんきんネット利用促進の案内	2回	563名	
		「ねんきん月間」「年金の日」のポスターおよびパンフレットの送付	1回	570名	
		社会保険事務参考図書の送付	1回	548名	
	魚津	電子申請利用促進の案内	1回	475名	
		「ねんきん月間」「年金の日」のポスターおよびパンフレットの送付	1回	470名	
		社会保険事務参考図書の送付	1回	470名	
	砺波	ねんきんネット利用促進の案内	1回	365名	
		社会保険事務参考図書の送付	1回	342名	
	本部	職域型年金委員活動の手引き	1回	全委員	

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
年金委員活動 支援事業	<p><b>年金委員大会</b> 令和2年11月20日(金)「ポルファートとやま」において、年金委員大会を開催し、年金事業の推進・発展のためご尽力いただいた年金委員の方々の功績を讃え、厚生労働大臣・日本年金機構理事長・日本年金機構理事、富山県社会保険委員会連合会長表彰を行いました。</p>  <p>【年金委員表彰者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働大臣表彰…………… 1名</li> <li>・日本年金機構理事長表彰…………… 5名</li> <li>・日本年金機構理事表彰…………… 8名</li> <li>・富山県社会保険委員会連合会長表彰…………… 11名</li> </ul>	<p>今年度は、感染症の影響のため、表彰式のための開催となったが、社会保険委員会連合会および全国健康保険協会と合同での表彰式の実施は、各組織との協力連携と年金委員のモチベーションに非常に有効であるため、次年度も継続開催を実施する。</p> <p>&lt;参加者&gt; 前年度： 146社 148名</p> 

21

## 4.これまでの会議で出た意見および課題への対応(1/2)

開催回	事業名	意見・課題事項	対応状況
第6回	地域相談事業	自宅に届いた学生納付特例申請書の案内が放置されるケースも多いと思われるため、大学構内に年金窓口を開設し、手続き等をできるよう取組むことで学生の年金に対する意識が向上するのではないかと。	【対応中】 令和2年度においても感染症の影響もあり拡大には至っていない。 事前の周知方法や効果的な開設時期等の検討が必要。
	地域連携事業	企業内での年金制度説明会拡大は、職域型年金委員会を中心に声を出していかないといけない。PR不足ではないかと。	【対応中】 令和2年度においても感染症の影響もあり拡大には至っていない。 講師派遣の体制検討等課題はあるものの、職域型年金委員の各種会合等での協力依頼の他各種広報掲載に努める。
	年金セミナー事業	看護専門学校では、国民年金の加入・納付の話だけでなく、障害年金手続きについても説明してはどうか。	【対応中】 令和2年度においても感染症の影響により、取り組むことができなかった。 感染状況等踏まえ、来年度に取り組む。
		セミナーの実施により納付率向上を求めるのであれば、親にも伝わるような手法も必要ではないかと。 事前に資料を渡して、親の疑問も記入してもらってはどうか。	【対応中】 親の疑問の事前収集は実施に至っていない。来年度において学校へのアプローチの際に依頼・協議を行う。
第7回	年金セミナー事業	(池田委員) 中学校が取り組んでいる「14歳の挑戦」の受け入れ企業に対し、中学生用の社会保険制度パンフレットを配布して「お父さん、お母さんと読んでおいて。」と伝えてもらうだけでも広く周知する切り口になる。是非、中学生等若年層向けパンフレットの作成・配布を検討いただきたい。	【対応中】 ご意見は本部へ報告させていただいてはいるが、実現には至っていない。



## 4.これまでの会議で出た意見および課題への対応(2/2)

開催回	事業名	意見・課題事項	対応状況
第8回	年金セミナー 事業	(土肥委員) 大学進学に向けた動きが大きくなる前の1年生2年生を対象とした普通科高校へのセミナー普及および特別支援学校の保護者向けのセミナーに取り組んでもらいたい。	【対応中】 普通科高校へのアプローチを行うも、実施までには至らないケースが多いが、今年度1校実施することができた。 今後もアプローチを継続していく。
		(土肥委員・高見委員) 年金セミナーを授業で行えない場合は、教頭先生を窓口としてPTA活動で保護者が集まる機会を捉え、アプローチすることもよいのではないか。	【対応中】 今年度は感染症の影響により、取り組むことができなかった。 感染状況等踏まえ、来年度に取り組む。
		(西村委員・林委員) 年金に関する教育は高校生にも大事であるが、もっと年齢を下げて初等教育から取り組む必要があるのではないか。	【対応中】 厚生労働省年金局において、小学生向け年金まんがである「年金のひみつ(仮称)」を制作中であり、今年度中に電子書籍として学研プラスの関連会社が管理する児童・生徒向けポータルサイト「キッズネット」内で公開される予定である。
		(池田委員) 外国からの技能実習生が多く集まる日本語教育支援団体に対する年金セミナーを検討いただきたい。	【対応中】 今年度は感染症の影響により、取り組むことができなかった。 感染状況等踏まえ、来年度に取り組む。
	年金委員活動 支援事業	(西村委員) 市町村職員退職時における地域型年金委員の委嘱勸奨の取組んでもらいたい。	【対応中】 今年度は取り組むことができなかった。来年度に依頼文を送付し取り組むこととする。



## ○各事業への取組方針

事業名	取組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
地域連携事業	市町村、自治会、事業所、関係機関、関係団体と連携した年金制度の周知・啓発活動の実施	市町村職員担当者向け研修会の実施 事業所事務担当者向け研修会の実施 ハローワークの離職者説明会での年金制度説明の実施 富山県社会保険労務士会研修会での年金制度説明の実施 富山県社会保険委員会連合会、富山県内4社会保険委員会との連携による年金委員研修会等の実施 市町村職員担当者向け広報誌「かけはし」の配布
年金セミナー事業	富山県内の大学や専門学校、高等学校等での年金セミナーの実施	従来の対面型と併せ非対面型（オンライン：令和3年10月開始目途）によるセミナーの実施や年金セミナー用動画（DVD）の配布等、各教育機関のニーズに合わせ実施する。 各教育関係機関への年金セミナー実施、エッセイ募集の協力依頼 大学、短大、専門学校、高等学校、支援学校（団体）における年金セミナーの実施 PTA活動の機会を捉えた保護者への年金セミナーの実施
地域相談事業	市町村、自治会、大学、事業所、ハローワーク、ジョブカフェ、商業施設等における出張年金相談の実施	市町村連携による出張年金相談の実施 大学等構内における出張年金相談の実施
年金委員活動支援事業	年金委員の活動に必要な情報提供を十分に行うとともに、関係団体への働きかけを強化し、その委嘱拡大に努める	全国年金委員研修会の実施（本部主催） 本部および各年金事務所からの年金委員への情報提供 年金委員研修会の実施 年金委員大会の実施 年金委員委の嘱拡大